



こもれび新聞

2025年
3月号

連絡先：〒197-0825 東京都あきる野市雨間385-2 電話 042-550-3030 FAX 042-558-0756
発行者：社会福祉法人さくらぎ会・特別養護老人ホーム こもれびの郷・広報委員 <http://www.komorebinosato.or.jp>



感染症対策訓練（BCP）の風景

来年度事業計画策定

施設長 藤田 和弘

来年度は、いよいよ「2025年問題」の年を迎えます。すべての「団塊の世代」が後期高齢者となり、国民の約3人に1人が65歳以上という超高齢化社会となります。

この中で最大の課題は労働力人口の減少です。こもれびの郷でも、それに伴い、施設での雇用環境の改善より労働者を受け入れ態勢の見直しを行ってきました。

また、昨年1月1日に起きた能登半島地震やその後の豪雨、各地の台風による自然災害など、新型コロナウイルスによるパンデミック後も、様々な災害が起こっております。

これらのことから、こもれびの郷では、引き続き、働きやすい職場の充実に向けた環境を整え、業務を効率化して生産性を高めるためのICTの活用や資質向上のための人材育成、多様な人材の積極的雇用を行っていきます。

そして、自然災害に備え、防災意識を高めて環境整備し、利用者様が安全で安心して、楽しく過ごしやすいただけるように、努めてまいります。

留学生さんとの協働

令和4年度から、外国人留学生さんをお迎えし一緒に働いています。言葉の壁を感じることはありません。しかしながら、若くして独立を志向し海を渡って来られただけあり、とても社会的で芯の強い優秀な方ばかりです。

現状の問題点としては「外国人だから」というよりは、「社会人としての働いたことがない」という日本人にも共通する経験の問題であることが多く感じています。こうしたことから、専任のコーディネーターを配置し、日本人職員との協働をサポートしてきました。

令和7年度はこの取り組みも4年目を迎えることから、また一歩先に進むことを考えています。今までお任せしていたなかった部分の業務を新たに担当していただくということになります。

そこで問題になるのは、やはり「記録」の部分だと職員間で話しています。介護のお仕事は、実際に手を動かす部分と同じくらい記録と考察が大切です。

その「記録」を活かす為には、自分が見た情報の整理、そして効果的な伝達が必要不可欠なのです。

この部分は時間をかけながらですが、少しずつ進めていきたいと考えています。その間は、そうした部分に日本人が補助し、リードすることになるでしょう。外国人の方にはその時間を産み出すために現場を守っていただきます。

外国人の方の立場から見れば、いきなりすべてを任せられるよりもまずは日本の高齢者とのコミュニケーションを学び、そして次に日本語の記録やそれを用いた次のレベルの仕事を与えられていくという時間的余裕を確保することになると考えています。



お馴染みの鬼たちが現れました

季節行事二月

こもれびの郷では、毎月利用者の皆様に季節を感じていただける様な行事を企画しております。

先月の二月は節分行事として豆まきをおこないました。鬼に扮装したワーカーが各階をまわり、利用者の皆さんに退治していただくという趣向でお楽しみいただきました。

本格的な衣装を用意して臨んだので、利用者の皆様がびっくりしたり喜んだりというご様子が写真からよく伝わってまいります。

感染症対策実施中

現在通常の感染症対策を行っておりますが、流行の状況を鑑み、以下のお知らせをいたします。

- ・三月二十日（木）より利用者さまの外泊と外泊が可能となります。

皆様以外でご面会に来られる方にもお伝え下さいませ。

厨房栄養士より

調理スタッフと栄養士は毎月「厨房会議」を行い、安全な施設給食とその質の向上に努めております。一月の会議の報告をいたします。

〈食形態の現状〉

現在多くの食形態が用意されておりますが、その内訳は以下の通り。
・主食（ご飯30名／お粥50名）
・副食（常食12名／他70名）
・療養食（減塩4名／脂質2名）

〈二月の献立報告〉

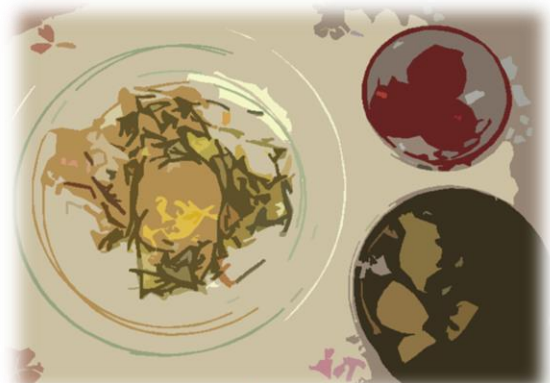
季節にちなんだメニューの開発・改良を行っております。また、月数回、利用者の皆様のリクエストにお応えしております。

- ・三日 豆ごはん
- ・十四 バレンタインメニュー
- ・二十四 天皇誕生日・ちらし寿司
- ・リクエストメニュー
- ちらし寿司、白身魚のフライ

〈情報共有〉

厨房のみならず、介護課等他部署との連携を密に行います

- ・インフルエンザ減少傾向
- ・一階工事による配膳業務変更の対応を確認
- ・個人購入嗜好品の納品対応法などの確認



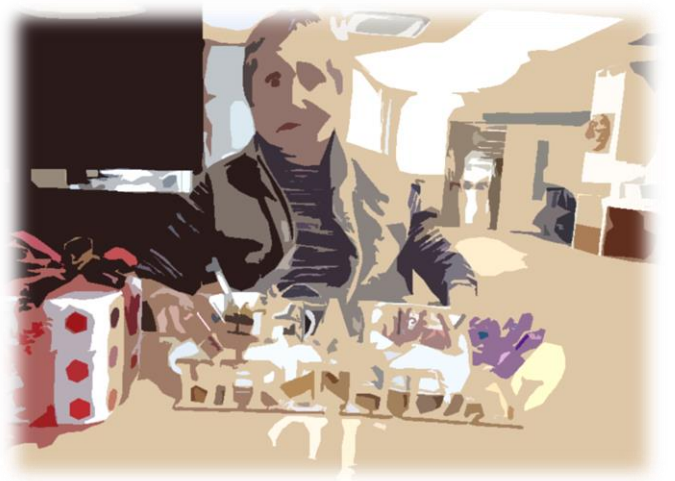
天皇誕生日の献立
ちらし寿司、煮物、苺

< 雨間・みどりの里地区の皆さまへ >

要支援・要介護の方の入所・短期入所のご相談承ります。

あきる野市等地元の方の入所枠がございます。

電話：042-550-3030 担当：相談室



ポーズをとってくださいました

お誕生日おめでとう ございます

こもれびの郷では、利用者の皆様のお誕生日の月にその方に合わせたお祝い、バースデー企画を行っております。

趣旨としては、こもれびの郷をご利用いただいている大切なお客様でもある皆様に、年に一回日頃の感謝を込めてお祝いをさせていただくというものです。

企画は利用者様のお部屋の担当をさせていただいている職員が行い、「どの様な形で行えば喜んでいただけるか。」を考えて事を運んでおります。

近隣への外出なども感染症流行の状況や天候にもよりますが、可能です。



お天気の良い日の屋上にて



熱心にとりくまれる

クラブ活動報告 書道クラブ

毎月最終水曜日。書道クラブを行っております。スタッフは職員2名とボランティアさんです。墨汁、筆、半紙、毛氈などを用意します。

お手本は書道師範の紫順先生で、普段は1階の事務所で総務を担当しているこもれびの郷の職員さんです。開園以来休むことなくずっと担当していただいております。準備も丁寧でぬかりなく、その月にあった言葉を選び、前もってお手本を自ら書いてくれているので、利用者さんにとっても好評です。

こもれびの郷の利用者さまは、当然ながらパソコンもワープロもない時代になされた方ばかりですので本当にお上手です。

文字は書く機会の少ない私たちは、利用者さまが楽しそうに書写に勤しんでおられる風景はとても新鮮です。



真剣な眼差しでとりくまれる

からり施設散歩の旅

ファイル223 「こもれび農園」

こもれびの郷の前庭には畑があります。管理担当の橋本さんやガーデンプロジェクトのメンバーが毎日手入れをしてくれています。

いまは、のらぼう、いちご、そしてジャガイモが育っています。ただ最近雨が少なく寒さもきついので苦戦しております。



種を蒔くひと

今月の芸術家



手芸クラブの風景



書道クラブ作品

ボランティア通信

ボランティア活動 へのおさそい

現在ボランティア活動へご参加いただける方を募集しております。手順は以下の通りとなっております。

- ① こもれびの郷へのお電話
- ② 施設見学兼説明会への参加
- ③ 参加内容と日程の決定
- ④ 参加

となっております。まずはお問い合わせのお電話をいただけますようお願いいたします。

俳句川柳クラブ 傑作選

校門の
高きボプラや
卒業す（渡邊吉氏）

寒い朝
降りしきる雪
銀世界（庄司氏）

春の花
雪に隠れて
春を待つ（清水氏）

冬の朝
トミさん囲んで
塗り絵する（石川氏）

古池に
金魚泳いで
カワイイな（三井氏）

冬になる
雪が降りつつ
綺麗なな（白石氏）



<3月の行事>

- 1 土 療法士指導
- 2 日
- 3 月 ひなまつり
- 4 火
- 5 水 職員健康診断
- 6 木
- 7 金 理容の日
- 8 土 療法士指導
- 9 日
- 10 月 俳句川柳クラブ
- 11 火 アロマクラブ
- 12 水 防災訓練
- 13 木 音楽クラブ
- 14 金 理容の日

- 15 土 療法士指導
- 16 日
- 17 月 安全衛生委員会
- 18 火
- 19 水 出張喫茶「青蛾珈房」、菓子配達
- 20 木 華道クラブ
- 21 金 理容の日
- 22 土 療法士指導
- 23 日
- 24 月 紙芝居クラブ
- 25 火 利用者懇談会、茶道クラブ
- 26 水 書道クラブ
- 27 木 特別感染症委員会
- 28 金 訪問美容

- 29 土 療法士指導
- 30 日
- 31 月 手芸クラブ

<4月の行事> ※変更の可能性あります

- 1 火
- 2 水
- 3 木 クラブ活動
- 4 金 理容
- 5 土 療法士指導
- 6 日
- 7 月 クラブ活動
- 8 火
- 9 水
- 10 木 クラブ活動

